

確かな技術力の継承と 人材育成を目的に、 インドネシア人 技能実習生を受入れ

【技能実習】

来日してまだ1年未満の実習生は、作業中に何度かミスを経験しました。ミスがあった際には技能実習指導員と原因を確認し、同じミスを繰り返さないよう、作業中や帰宅後に振り返る習慣を身につけています。

インドネシアの乗用車は1800万台以上で、日本の3倍にのびます。今後は消費市場としてだけでなく、生産拠点としての存在感も高まる見込みです。ガソリン車もまだ多く使われているため、実習生の学びは将来、インドネシアの交通や物流を支える力につながります。

【日本語学習】

技能実習責任者は、3級ガソリン整備士用のテキストや日本語能力試験（JLPT）対策テキストを用意し、実習生の学習を支援しています。



セティオさん(上写真手前)
ディマスさん(下写真手前)

また、毎朝3名の社員に質問する課題を出すことで、日本語での会話機会を増やし、社員との交流も深めています。

実習生は昨年12月7日にN3に挑戦しました。難しかったものの、手応えはあったようです。結果はまだ出ていませんが、7月のN2受験に向けて技能実習責任者と準備を進めています。

休憩時間や休日も活用して勉強を重ねた結果、現在では通訳なしで日常的な会話ができるようになっていきます。

【文化体験】

実習生は技能実習責任者とともに、地元・埼玉県で開催された取引先協賛の花火大会に参加しました。栈敷席から見る日本の花火に感動し、「忘れられない思い出になった」と話しています。年末年始には、新潟県でスノーボードにも挑戦しました。初めての雪やスノーボードでしたが、筋肉痛にもめげず、「またやりたい」と笑顔を見せていました。

受入れ企業 プロフィール

ウチダオート株式会社



埼玉県を中心に自動車販売及び自動車整備を手がけている。2025年9月に開始した外国人材の受入れに関しては、実習・業務だけでなく、日本語学習や文化体験を通じて外国人材が着実に成長できる環境を整備し、挑戦する姿を温かく支えている。